

# 博物館におけるデジタル・アーカイブと その課題

田良島 哲  
2011-07-21

# 「博物館は博『情』館」(梅棹忠夫)

- それ自体は事実であると同時に、あるべき姿だが...
- 「情」があれば「物」は不要？
- 「物」と「情」の効果的な連携と公開
- 実装のむずかしさ
  - 例えば展示におけるキャプション

# 東京国立博物館における情報システムの構築

- 直面した実務的課題
  - 独立行政法人化：人的資源の限界
  - 伝統的な所蔵品管理手法の限界
  - 社会的な情報公開の要請
- 実務面の対応だけでは学芸員はついてこない

# 構築開始の沿革

- 2005年度から研究を始める。担当研究員を新規に採用。開発も自前。
- まず博物館資料情報の構造化モデル作成。

# DBの構築と業務支援

- 2006年度～
- 既存のデータをもとに所蔵品情報管理DBを構築
- 業務支援用のサブシステムを順次付加。稼動しながら改善。
  - 平常展の立案、事務手続き
  - 資料の受け入れ手続き(寄贈、購入、寄託)
  - 外部への貸出事務
  - 画像DBとの一部連携

protoDB / - Mozilla Firefox

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://protdb.tnm.jp/dev2/search?classification=&sign=H&invnum=&br=&title=&creator=&excavation=

InfoLib 東京国立博物館 - 情報... トップページ - サイボウズ protoDB protoDB / 東京国立博物館 - 情報... Yahoo! JAPAN

protoDB / 文化財画像情報統合管理システム

protoDB ログイン | ヘルプ  
作業中 仮リスト

作品 人物・団体 地名 リスト 平常展 鑑査会議 貸与



» 作品を検索



H 漆工  番号:  枝番:  名称:  作者:  出土地:



国宝  所蔵者:  寄贈者:  取得・受入年(西暦):  [オプションを隠す](#)



列品  寄託品  館史  古写真  図書  備品  その他

1 - 4 of 4 total hits.

 H-53 (列品)  
舟橋蒔絵現箱 [\[仮リスト\]へ追加](#)  
[国宝] 1合 本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀  
 [\[表示\]](#)

 H-86 (列品)  
八橋蒔絵螺鈿現箱 [\[仮リスト\]へ追加](#)  
[国宝] 1合 尾形光琳作 江戸時代・18世紀  
 [\[表示\]](#)

 H-4282 (列品)  
片輪車螺鈿蒔絵手箱 [\[仮リスト\]へ追加](#)  
[国宝] 1合 平安時代・12世紀  
 [\[表示\]](#)

 H-4445 (列品)  
片輪車蒔絵螺鈿手箱 [\[仮リスト\]へ追加](#)  
[国宝] 1合 鎌倉時代・13世紀  
 [\[表示\]](#)

# 内部的な情報の流通促進

- 誰もが使う情報システムの構築
  - ないと仕事にならない
  - 自分で入力すれば長期的には楽になる
  - さまざまな用途に使いまわせる
- 日常的な情報のチェック、更新

# 画像利用は140年前から 壬申検査(1872)





# 画像情報のデジタル化

- 1994年に着手
  - 原板フィルム（主として4×5）をスキャニング
  - JPEG画像の一部ウェブサイトで検索可能

	小 (500×625)	中 (1000×1250)	大 (2000×2500)	特大 (4000×5000)
TIFF画像 (1000dpi)	(2MB)	8MB	(15MB)	60MB
JPEG画像 (72dpi)	(30KB)	120KB	(500KB)	2MB

# 提供している画像



- ・ 4 × 5 フィルム デュープ
- ・ フィルムからのスキャン画像
  - ・ 24bitカラー, 無圧縮TIFF形式
  - ・ 1000dpi, 4000 × 5000pixel
- ・ ボーン・デジタルの高精細画像

# 画像取扱業務の フルデジタル化への対応

- フィルムによる撮影をおおむね停止
- 撮影のデジタル化
- 外部提供も多くがデジタルデータに
- 画像管理システムにボーン・デジタルの  
カテゴリを追加

# 最近の新しい動向

- 2009年度補正予算による、国立博物館・所蔵の国宝・重要文化財の高精細デジタル画像作成・公開
- 「e国宝」: ウェブサイト・iPhoneアプリ
- 三次元計測による作品データの取得
- CG番組の制作⇒YouTubeでの公開

# これからの課題

- 画像データの「数」の増加
- 「もの」の取扱が必要：地道な継続
- 外部提供サービスの充実
- 既存データの質の改善